

平成24年度 事業計画及び収支予算書

(公財) 兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	3
事業計画書	5
収支予算書（資金ベース）	13
収支予算書（損益ベース）	15
収支予算書内訳表（損益ベース）	19

平成24年度 活 動 方 針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化）され、兵庫県、篠山市、丹波市や市民と連携しながら、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところである。

平成24年4月からは、いよいよ公益財団法人としてスタートし、これまで以上に、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開する。

平成24年度の主な取組として、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立ささやまの森公園」、「県立丹波年輪の里」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設の連携を更に深め、また、「丹波の森研究所」の充実強化を図りながら、丹波の豊かな地域資源を活かした地域づくり、恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり、地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、生活創造活動のコーディネートなど多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進する。

具体的には、「人と自然と文化の調和した森(地域)づくり」を目指して、次の3つのテーマを公益目的事業として設定し、事業や取り組みを推進する。

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな里山づくり
- (3) 生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、「生活創造活動」と「参画と協働によるこころ豊かな美しい丹波づくり」の推進拠点として、引き続き丹波らしさを生かした地域づくりを推進する。

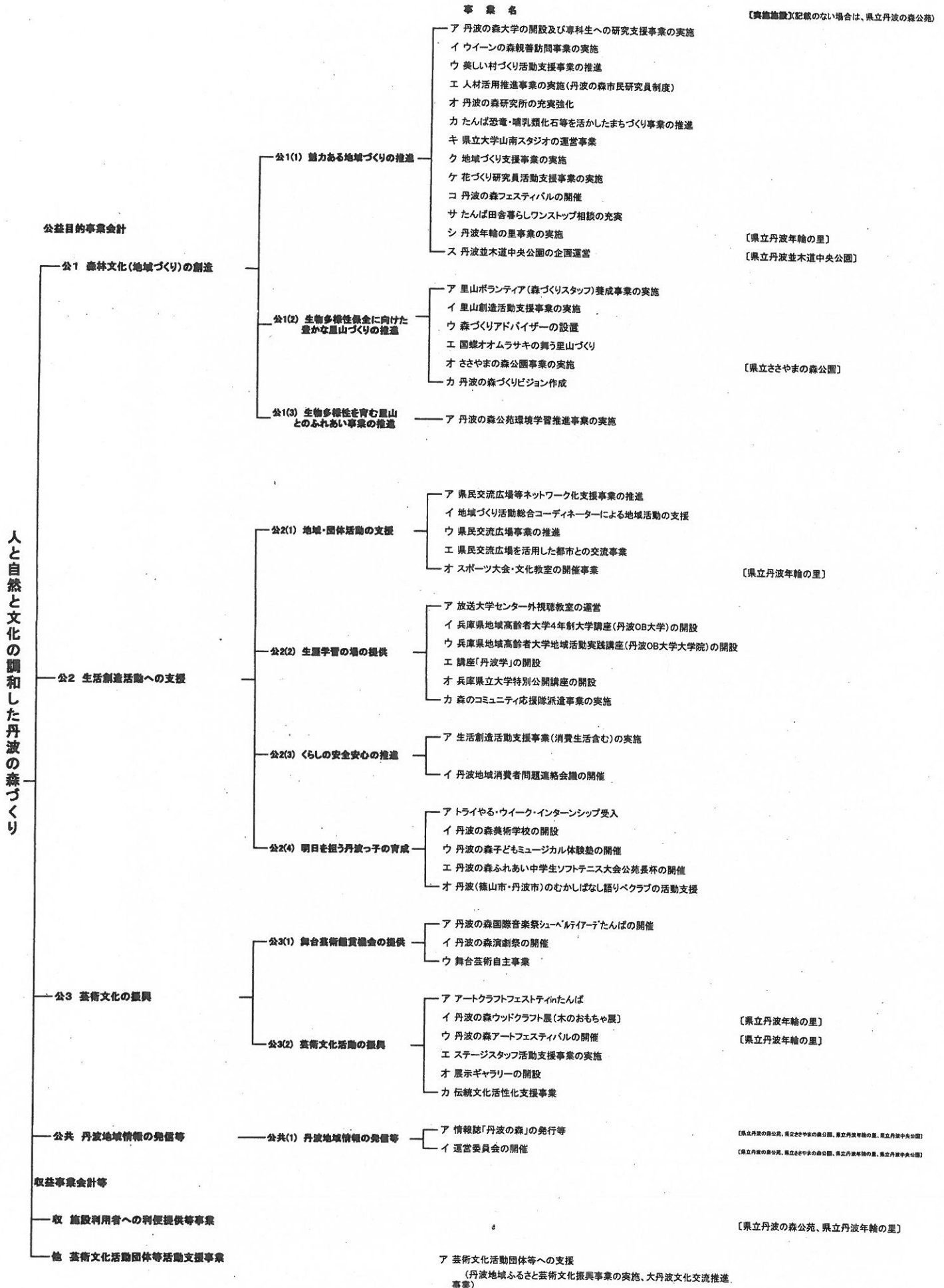
・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

・「県立丹波年輪の里」では、木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝え、森林や環境を考える心を育てる木育を推進していく。

・「県立丹波並木道中央公園」では、豊かな森づくりと都市との交流の場として地域づくりに貢献する丹波らしい公園づくり「森づくりから森づかい」を基本に、森の魅力を地域の人々が主体となる企画運営を重視した公園づくりを推進する。

・「丹波の森研究所」では、地域に密着したシンクタンクとして調査研究や取組提案を行い、市民主体の活動を支援するとともに魅力ある丹波の森づくりを先導していく。

平成24年度 事業体系



一级指标	二级指标	三级指标	四级指标	说明
A 1 投入要素	A 1.1 人力投入	A 1.1.1 人员数量	A 1.1.1.1 在岗人数	指报告期内从事该项工作的全部在岗人员
		A 1.1.1 人员数量	A 1.1.1.2 离退休人员	指报告期内从事该项工作的离退休人员
		A 1.1.1 人员数量	A 1.1.1.3 劳务派遣人员	指报告期内从事该项工作的劳务派遣人员
		A 1.1.1 人员数量	A 1.1.1.4 临时聘用人员	指报告期内从事该项工作的临时聘用人员
		A 1.1.1 人员数量	A 1.1.1.5 其他人员	指报告期内从事该项工作的其他人员
	A 1.1.2 人员素质	A 1.1.2.1 专业技术人员	指具有中专及以上学历或中级及以上职称的人员	
	A 1.1.2 人员素质	A 1.1.2.2 管理人员	指具有中专及以上学历或中级及以上职称的人员	
	A 1.1.2 人员素质	A 1.1.2.3 操作人员	指具有初中及以上学历的人员	
	A 1.1.2 人员素质	A 1.1.2.4 其他人员	指具有初中及以上学历的人员	
	A 1.1.2 人员素质	A 1.1.2.5 其他人员	指具有初中及以上学历的人员	
A 1.2 物力投入	A 1.2.1 房屋面积	A 1.2.1.1 自有房屋	指单位自有房屋面积	
	A 1.2.1 房屋面积	A 1.2.1.2 租赁房屋	指单位租赁房屋面积	
	A 1.2.1 房屋面积	A 1.2.1.3 其他房屋	指单位其他房屋面积	
	A 1.2.2 设备数量	A 1.2.2.1 专用设备	指用于该项工作的专用设备数量	
	A 1.2.2 设备数量	A 1.2.2.2 通用设备	指用于该项工作的通用设备数量	
A 1.3 财力投入	A 1.3.1 经费总额	A 1.3.1.1 财政拨款	指由财政拨款的经费	
	A 1.3.1 经费总额	A 1.3.1.2 事业收入	指单位事业收入	
	A 1.3.1 经费总额	A 1.3.1.3 经营收入	指单位经营收入	
	A 1.3.1 经费总额	A 1.3.1.4 其他收入	指单位其他收入	
	A 1.3.1 经费总额	A 1.3.1.5 其他收入	指单位其他收入	
A 2 产出要素	A 2.1 产出数量	A 2.1.1 产量	A 2.1.1.1 合格品	指报告期内生产的合格品数量
		A 2.1.1 产量	A 2.1.1.2 废品	指报告期内生产的废品数量
		A 2.1.1 产量	A 2.1.1.3 其他	指报告期内生产的其他产品数量
		A 2.1.2 产值	A 2.1.2.1 主营业务收入	指报告期内实现的主营业务收入
		A 2.1.2 产值	A 2.1.2.2 其他收入	指报告期内实现的其他收入
A 2.2 产出质量	A 2.2.1 合格率	A 2.2.1.1 一次合格率	指一次检验合格的产品比例	
	A 2.2.1 合格率	A 2.2.1.2 二次合格率	指二次检验合格的产品比例	
	A 2.2.1 合格率	A 2.2.1.3 其他	指其他检验合格的产品比例	
	A 2.2.2 客户满意度	A 2.2.2.1 客户评价	指客户对产品的评价	
	A 2.2.2 客户满意度	A 2.2.2.2 客户投诉	指客户投诉的数量	

平成24年度 事業計画書

公1 森林文化(地域づくり)の創造

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(1)魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設及び専科生への研究支援事業	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習をまじえた講座を開催する。	○第22期 ・テーマ「私たちの社会、家族、癒しを考える」 ・実施時期 7月～12月 10回開催 ・定員 100人 ○専科生への活動支援 ・参加者数 11人	
	イ ウィーンの森親善訪問事業の実施	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーンの森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	第21回 ・実施時期 6月13日～6月22日 10日間 ・募集人員 40人 ・訪問先 オーストリア、スイス、フランス	
	ウ 美しい村づくり活動支援事業の推進	丹波の森づくりを推進するため、里づくり計画等、快適な環境づくりを進める地域やグループ、団体等を対象に、丹波の地域づくり等を調査・研究する当協会の『丹波の森研究所』の研究員を派遣し、助言する。	美しい村づくりのための調査研究テーマの再検討と具体化(例:都市・農村計画、景観計画の今後の展開)	
	エ 人材活用推進事業(丹波の森市民研究員制度)	地域課題の解決や知識のノウハウを活かし、集落を活性化するため、平成18年度から3年間をかけて構築した丹波の森市民研究員を集落に派遣する。		
	オ 丹波の森研究所の充実強化	地域や各種団体等への活動を支援するため、丹波の地域づくり等を調査・研究する当協会の『丹波の森研究所』の体制を強化し、丹波地域の森(地域)づくりのシンクタンク機能及び中間支援機能を拡充する。	・森研究所の自立・持続方策の研究 ・研究能力のある研究員獲得、研究交流を通じた資質向上 ・丹波並木道中央公園の企画運営の継続	
	カ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業の推進	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、その価値や意義、丹波の魅力を広く全国に発信するとともに、当協会が主導してまちづくり協議会(構成団体:県・両市、両市の商工会・観光協会等60団体)を組織し、観光資源、特産品等の開発、人材育成を行う。	・まちづくり推進協議会の運営 ・篠山層群連携イベントの実施・ウォーキングマップの作成 ・子ども恐竜塾の開催 ・一般セミナー及び専門セミナーの開催 ・サイエンスカフェの開催 ・ホームページ「恐竜info」の運営	
	キ 兵庫県立大学山南スタジオの運営事業	川代溪谷や篠山層群一帯をはじめとする丹波地域をエリアとして、大学生や大学院生を受け入れ、ゼミやフィールドワーク型授業を行い、地域住民と連携しながらたんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業への提案、実践活動を展開する。	○調査研究 ・川代溪谷等の自然景観、動植物等 ・篠山層群の化石、地層等 ○実践活動、提案等 ・地域資源を活用した地域づくりに関する提案 ・地域行事への参加	
	ク 地域づくり支援事業の実施	丹波地域集落活性化戦略調査の報告に基づき、各校区(地区)が抱える課題の抽出及び解決策(地区カルテ)を探るため、県民局、篠山・丹波市、NPOなどと連携し、校区(地区)の抱える課題の解決方法を指導・助言する。	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、調査研究、アドバイザー派遣、人材育成の3つの側面から支援を行う。 ・地区カルテの活用・改訂 ・アドバイザーの派遣 ・OJTによる人材育成	
ケ 花づくり研究員活動支援事業の実施	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	園芸関連講座への住民ニーズが高いことから、継続して実施する。 〈長期講座〉 内容:草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講師:県立フラワーセンター職員 実施日:4～3月(毎月1回開催) 〈短期講座〉 内容:園芸に関する基礎知識修得 講師:但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 実施日:6・8・10・12月(年4回) ※5月に特別講座開催予定		

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
	コ 丹波の森フェスティバルの開催	地域住民をはじめ、各種団体や企業、2市など丹波地域の各階各層が取り組む様々な活動成果の発表や交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	県行財政改革や予算に対応して、内容に工夫を凝らし、丹波地域の特色や魅力をアピールする企画とする。 開催予定日 10月28日(日)	
	サ たんば田舎暮らしワンストップ相談の充実(県受託事業)	丹波地域への定住促進と地域活性化を図るため、都市住民を対象に、移住や週末滞在、田舎暮らし体験、就農など田舎暮らしに関する相談・情報を提供する「たんば田舎暮らしワンストップ相談」を行う。また、丹波の豊かな自然環境や地域ぐるみのまちづくり活動など丹波の魅力を紹介、案内する「たんばの田舎暮らし呼び込み大作戦」を実施する。	空き家を地域資源として地域が主体的に活用する取り組みを支援するほか、引き続き、都市部で「田舎暮らしセミナー」等を実施する。 (新)・空き家活用による田舎暮らし推進モデル事業の実施 ・「田舎暮らしセミナー」等たんばの田舎暮らしのPR ・ワンストップ相談の実施	
	シ 丹波年輪の里事業の実施	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。 【概要】 ・GWフェスタ、アトリ作品展など実施(4月、5月) ・団体及び個人等に対する木工クラフト指導(通年) ・週3回のグラウンドゴルフ事業(芝生広場活用)(通年) ・木を暮らしの中に取り入れるために、木材に関する情報提供、 木材利用相談などを実施(通年)		
	ス 丹波並木道中央公園の企画運営	公園の利用促進のため、森の円卓会議の企画・開催・運営、自主事業の企画・実施(環境学習事業、都市と農村の交流事業、地域づくり支援事業等)、広報PRの企画実施、丹波地域の他施設との連携などを実施する。		
(2)生物多様性保全に向けた豊かな里山づくりの推進	ア 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業の実施	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。	【森づくりスタッフ活動の運営】 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や自然観察・野外活動などに興味を持っている人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点として里山管理方法の修得や自然と触れ合う機会を提供する。 【里山倶楽部活動の支援】 森づくりスタッフOBによる自主活動グループである里山倶楽部の活動を支援する。 【環境学習体験フィールドの整備】 里山に親しむ環境づくりに向けて、里山倶楽部の協力を得ながら生き物飼育場などを整備する。あわせて、公苑内棲息動植物の調査を実施する。 【森づくり出前講座】 自治会、施設等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。	
	イ 里山創造活動支援事業の実施	森づくりスタッフOBによる自主活動クラブである里山倶楽部の主体的な活動の場を提供することにより、県民の里山とのふれあいの場の整備を推進する。		
	ウ 森づくり活動アドバイザーの設置	緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置する。 【主な業務内容】 ・里山倶楽部活動に対する相談・助言 ・地域団体や学校等に対する森づくり、花づくりの実践活動に関する相談・助言		
	エ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり	丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示を行う。また、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	里山に親しんでもらうきっかけづくりとして、引き続き里山の女王と呼ばれる国蝶オオムラサキの飼育・放蝶を行う。 さらに、オオムラサキ飼育開始後5年が経過することから、これまでの実績を発信するとともに、関係機関等との連携を強化する。 ・体験飼育展示 ・小学校等への飼育指導 ・在丹企業での飼育促進 ・教育関係機関との連携 ・放蝶会 7月中旬実施予定 ・兵庫丹波オオムラサキの会との連携	

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
	オ ささやまの森公園事業の実施	人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・レクリエーション・自然学習・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などの実施をすることにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。		
	カ 丹波の森づくりビジョンの策定	丹波の森は、戦後林政の拡大造林による人工林が多くを占めているが、長い間放置されており山林等の深刻な課題となっている。丹波地域の森林面積は、総面積の75%を占めており、森林管理、木材(間伐材を含む。)の未活用等様々な課題を解決するため、市民の参画・協働のもと「森ビジョン」を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森林づくりの基本施策の検討 ・モデル地域の管理方針別ゾーニングの検証 (モデル地域でのワークショップ) ・重点事業の設定と事業化可能性の検証 ・森林づくりビジョンのまとめ 	
(3)生物多様性を育む里山とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業の実施	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> [子ども対象プログラム] ・丹波縄文の森塾の開催 体験型事業として好評を得ていることから引き続き実施する。 期 間:5月～3月毎月1回 参加者:小学4年～6年生(30人)予定 [親子・家族対象プログラム] ・四季を通じて実施することにより、丹波(森公苑)のファンを増やす。 ・里山ふれあいハイキング 実施日:4月29日、10月28日 ・水辺の生き物観察(新規) 実施日:8月上旬予定 [リーダー養成プログラム] ・自然体験サポーターの設置 [学習環境学習支援プログラム] ・秋の里山実り体験 ・出前講座の実施 ・公苑における学習支援 [生物多様性里山空間の構築] ・公苑内棲息動植物調査(予定) 	

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(1)地域・団体活動の支援	ア 県民交流広場ネットワーク化支援事業の推進	コミュニティ再生への機運づくりと各広場間の交流や連携の促進を図るため、各地域における子育てサークル活動、児童見守りなどの防犯活動、一人暮らし高齢者と住民のふれあい喫茶の運営などの県民交流広場事業の取り組みやその成果を紹介する、「地域情報誌 丹波の森」を発行する。	・情報紙「丹波の森」による情報発信 年2回発行 ・県民交流広場イベント情報をホームページ等で発信 年4回	
	イ 地域づくり活動総合コーディネーターによる地域活動の支援	地域づくり活動団体・グループとの情報の交換、マッチング、情報提供等を行い地域づくり活動を支援するため、地域づくり活動を総合的に推進するコーディネーターを1人配置する。		
	ウ 県民交流広場事業の推進	『県民交流広場』とは、篠山市・丹波市の44校区において、身近なコミュニティ施設などを活用して整備される活動の場と、そこで営まれる住民の皆さんによる地域を舞台とした子育てサークル活動、児童見守りなどの防犯活動、一人暮らし高齢者と住民のふれあい喫茶の運営など多彩な分野の活動を通じた元気と安心のコミュニティづくりをいう。この県民交流広場の活動を推進するため、篠山市・丹波市と連携して、広域推進委員会を開催し、事業計画の指導助言を行うとともに、事業完了後の交流広場の活動をフォローアップするため、地域交流フェスタを開催する。		
	エ 県民交流広場を活用した都市との交流事業	丹波の魅力を経験する機会をつくることにより丹波の田舎暮らしや新規就農の拡大につなげるため、神戸・阪神地域と丹波地域の県民交流広場を交流の窓口とするセッティングを行うとともに、交流事業に要する経費の一部を助成をする。	・丹波地域と都市部の県民交流広場のネットワークづくりの支援 ・都市・農村交流ネットワーク会議の開催 ・交流活動に関する情報提供、助言 ネットワーク参画の広場の交流に関連する活動情報を随時発信、必要に応じて助言	
	オ スポーツ大会・文化教室の開催	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会、竹トンボ大会を開催する。また、工作室などを利用する木工特別教室、マイ箸づくり、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、陶芸教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。		
(2)生涯学習の場の提供	ア 放送大学センター外視聴教室の運営	放送大学の学生への学習支援のため、ビデオ・テープ等の学習教材視聴の場として丹波教室を開設運営する。併せて、一般県民への学習教材の視聴提供も行う。		
	イ 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限 4年 ・募集定員 60人 ・講座内容 教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造) ・開催時期 5月から3月19回 ・受講料 12,500円	
	ウ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設		【丹波OB大学大学院】 ・学習年限 2年 ・募集定員 30人 ・講座内容 基礎講座、課題演習、教養講座、実践講座等 ・開催時期 5月から3月19回 ・受講料 12,500円	
	エ 講座「丹波学」の開設	「丹波の森構想」に対する理解を深めるとともに、丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるため、学習の機会を提供する。	・テーマ:もののふ(武士)たちの丹波 ～平氏・源氏と丹波～ ・9/10～(各土曜 5回) ・募集定員:90人 ・受講料:5,000円	
	オ 兵庫県立大学特別公開講座の開設	生涯学習の一環として、また、地域に開かれた大学として地域社会への貢献に資するため、大学の研究成果を判りやすく紹介し、現代の社会や世界の動向を理解する上で役立つ知見を広く県民に提供する。	・テーマ:「日本経済の現状と課題を学ぶ」 -主要な経済政策とその政策効果を学びましょう- ・6/30(土)～8/25(土) 全5回 ・募集定員:40人 ・受講料:5,800円	
	カ 森のコミュニティ応援隊派遣事業の実施	生活の創造や豊かな地域社会づくりの実現するため、県民が身近な地域を学びの場と位置づけ、地域コミュニティの再生をめざして自主的に行う学習会・ワークショップ等の講師謝金を助成する。	・7月～ 企画講座の募集 ・7月～3月 各講座開講 7講座支援予定	

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(3)くらしの安全 安心の推進	ア 生活創造活動支援事業 (消費生活を含む。)の実施	生活創造活動や消費生活に関する相談窓口を開設するとともに、丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動を支援するため、討議の場であるグループ活動コーナーの提供、印刷機材の提供や生活創造活動の情報の収集発信を行う。 ・生活創造活動グループとの登録 登録グループ数 226団体	・生活創造・消費生活相談窓口の開設(休苑日を除く、土日は事前予約制) ・くらしの通信講座の開催 講座の内容は、「インターネット被害」「携帯電話リサイクル」「欠陥住宅」「金融商品」「リーニング」などについて学習する。9月～2月、通信学習5回・スクーリング1回 ・出前講座の開設 ・消費生活情報ニュース等の発行	
	ア トライやる・ウイーク等 受入	中高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生ふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・トライやる・ウイーク(中学生) 6月5日～9日(予定) ・インターンシップ(高校生) 11月実施予定	
(4)明日を担う丹 波っ子の育成	イ 丹波の森美術学校の開設	「丹波の森構想」のめざす芸術文化の香り高い地域づくりを推進し、子どもたちの創造意欲を高めるとともに、豊かな感性を育むため、新進芸術家や大学教授等を講師に美術教室を開催する。	○丹波の森子ども美術クラブ 開設時期:7月下旬～8月(夏休み期間中) 受講対象:小学生 <募集定員20人> ○宝塚大学連携講座 丹波の森美術学校 開設時期:8月4日、5日 受講対象:小学生(5・6年生)、中・高生 <募集定員20人>	
	ウ 丹波の森子どもミュージ カル体験塾の開設	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通じて、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	○レッスン 7月～10月 15回 小学生・中学生・高校生 30人 ○発表公演(「劇団ウエスト」の俳優との共演) 10月21日(日) 丹波の森公苑ホール	
	エ 丹波の森ふれあい中学生 ソフトテニス大会公苑長杯の 開催	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の交流の場を提供する。	・開催日時:5月3日(木) ・実施場所:丹波の森公苑テニスコート ・参加者数:中学生 200人 (男子50ペア・女子50ペア)	
	オ 丹波(篠山市・丹波市)の むかしばなし語りべクラブの活 動支援	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを推進するため、「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」を活用して話し聞かせる活動を家庭や地域に広げる活動や紙芝居作成を支援する研修会を開催する。	○丹波のむかしばなしを活用した交流会、 研修会の実施 ○紙芝居等の作成費及び修復費助成	

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞 機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルト・アーデたんばの開催	国内外からアーティストを招請し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しむ交流を深めるコンサートを開催 オープニング・サロンコンサート(2公演) ファイナルコンサート(1公演) ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施(10地区・10回) ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽広場」(10校)、「キン・コン・カン・コンサート」(4校)の実施 等	開催期間 9/8～11/17 ○ホールコンサート 9/8 オープニング・サロンコンサート (お菓子の里丹波) 11/17 ファイナルコンサート (丹波の森公苑ホール) ○大丹波交流コンサート ○街角コンサート(丹波2市10会場) ○キン・コン・カン・コンサート (中学校・高等学校 4校程度) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○協賛コンサート ○歌のつどい	
	イ 丹波の森演劇祭の開催	地元で活動する劇団等が一堂に会する演劇祭を開催し、丹波から特色ある演劇文化を発信するとともに、京都丹波の劇団の参加を得て、演劇を通じた大丹波文化交流を行う。(6団体)	○10月21日 丹波の森公苑ホール 丹波の森子どもミュージカル体験塾発表公演 ○10月27, 28日 丹波の森公苑ホール・練習室 地元劇団等発表公演(大丹波文化交流事業)	
	ウ 舞台芸術自主事業	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、演劇や音楽など質の高い公演を定期的に企画・開催し、県民に優れた生の舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。	検討中	
(2) 芸術文化活動 の振興	ア アートクラフトフェスティバルinたんばの開催	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。		
	イ 丹波の森ウッドクラフト展の開催	丹波のイメージアップと木エクラフトを普及させる全国公募展を開催する。 【概要】 ・全国公募 一般の部、ジュニアの部 ・展示 一般の部:9月～10月 ジュニアの部:10月～11月		
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供する。	○兵庫県文化賞受賞者小品展 10月中旬 (丹波の森公苑多目的ルーム) ○丹波の森新春書き初め展 1月下旬～2月上旬 (丹波の森公苑及び 篠山市四季の森生涯学習センター)	
	エ ステージスタッフ活動支援事業の実施	丹波の森公苑ホールを拠点としたステージスタッフへの研修等を実施し、ホール運営の技術を高める。	・ステージスタッフクラブ研修会の開催 ・丹波の森公苑ホール運営への参画	
	オ 伝統文化活性化支援事業	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年に伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する授業に講師を派遣する。	・民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・丹波地域中学校伝統文化、 民俗芸能体験事業	

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(1)丹波地域情報の発信等	ア 情報誌「丹波の森」の発行等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを開設・運営し、タイムリーな情報を提供する。	・情報誌「丹波の森」 年2回発行、各41,000部 ・協会ニュース2012 12月発行	
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。		

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
		1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里について、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1)管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2)管理運営施設における物品販売場所の提供 (3)施設・事業関連クラフトキット・加工木材等物品の販売		

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的	事業計画	備考
(3)芸術文化団体活動支援	ア 芸術文化活動団体等への支援	芸術文化団体等活動の充実を図るため、地域の芸術文化の普及をはじめ生活創造活動を目的とする団体等が実施する事業のうち、当協会が特に必要と認めるものを助成する。	○丹波文化団体協議会 丹波文化活動交流会(再掲)ほか ○おさん茂兵衛DEたんば実行委員会 ○日本の童謡・唱歌をひろめる会 丹波の森童謡唱歌の祭典 平成25年3月3日 丹波の森公苑ホール ○丹波の森ふれあい劇場実行委員会 第17回丹波の森ふれあい劇場 6月10日 たんば田園交響ホール ○丹波の森食文化講座実行委員会 丹波の森食文化講座の開催 開催期間 6/3~11/15(計6回)	

新加坡政府机构名称表 (续)

序号	机构名称	英文名称	中文名称	备注
	新加坡政府机构名称表 (续)			

新加坡政府机构名称表 (续)

序号	机构名称	英文名称	中文名称	备注

新加坡政府机构名称表 (续)

序号	机构名称	英文名称	中文名称	备注

収支予算書 (資金ベース)

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入	(2,000)			
基本財産利息収入	2,000			
2 特定資産運用収入	(10)			
森づくり基金利息収入	10			
3 会費収入	(180)			
賛助会員会費収入	180			
4 事業収入	(24,660)			
指定事業収入	(18,220)			
参加者負担金収入	5,931			
施設使用料収入	12,289			
自主事業収入	(6,440)			
自主事業参加者負担金収入	2,940			
商品売上収入	2,740			
手数料収入	760			
5 補助金等収入	(249,862)			
県補助金等収入	(8,404)			
県補助金収入	7,210			
県負担・分担金収入	1,194			
市補助金等収入	(18,800)			
市負担・分担金収入	18,800			
その他補助金等収入	30			
県受託収入	(220,054)			
指定管理料収入	212,299			
その他受託収入	7,755			
市受託収入	(2,604)			
指定管理料収入	0			
その他受託収入	2,604			
その他受託収入	0			
6 寄附金収入	(100)			
森づくり基金寄付金収入	100			
7 雑収入	(61)			
利息収入	11			
雑収入	50			
事業活動収入計	276,903			
2 事業活動支出				
1 事業費支出	(269,398)			
報酬支出	26,889			
給料手当支出	73,848			
福利厚生費支出	26,510			

貸金支出	16,890		
諸謝金支出	8,141		
旅費交通費支出	9,919		
消耗品費支出	8,682		
燃料費支出	2,235		
会議費支出	264		
印刷製本費支出	2,448		
光熱水費支出	16,813		
修繕費支出	4,752		
消耗什器備品支出	210		
商品仕入支出	1,500		
通信運搬費支出	2,721		
広告料支出	1,290		
手数料支出	998		
保険料支出	1,697		
委託料支出	44,839		
使用料及び賃借料支出	7,807		
備品購入費支出	150		
負担・分担金及び補助金支出	3,895		
租税公課費支出	6,823		
2 管理費支出	(13,161)		
報酬支出	4,208		
給料手当支出	5,056		
福利厚生費支出	1,400		
諸謝金支出	120		
旅費交通費支出	534		
会議費支出	24		
通信運搬費支出	47		
広告料支出	100		
委託料支出	355		
使用料及び賃借料支出	400		
負担・分担金及び補助金支出	167		
租税公課費支出	550		
支払利息	50		
雑支出	150		
事業活動支出計	282,482		
事業活動収支差額	△5,579		
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
投資活動収入計			
2 投資活動支出			
投資活動支出計			
投資活動収支差額			
III 財務活動収支の部			

1 財務活動収入				
財務活動収入計				
2 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
IV 予備費支出				
当期収支差額	△5,579			
前期繰越収支差額	6,015			
次期繰越収支差額	436			

1. 2014-2015
2. 2015-2016
3. 2016-2017
4. 2017-2018
5. 2018-2019
6. 2019-2020
7. 2020-2021
8. 2021-2022
9. 2022-2023
10. 2023-2024

収支予算書 (損益ベース)

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

(単位: 千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	(2,000)			
基本財産受取利息	2,000			
特定資産運用益	(10)			
森づくり基金受取利息	10			
受取会費	(180)			
賛助会員受取会費	180			
事業収益	(24,660)			
指定事業収益	(18,220)			
参加者負担金収益	5,931			
施設使用料収益	12,289			
自主事業収益	(6,440)			
参加者負担金収益	2,940			
商品売上収益	2,740			
手数料収益	760			
受取補助金等	(249,892)			
受取県補助金等	(8,404)			
受取県補助金	7,210			
受取県負担・分担金	1,194			
受取市補助金等	(18,800)			
受取市負担・分担金	18,800			
受取その他負担・分担金	30			
県受託収益	(222,658)			
指定管理料収益	212,299			
その他受託収益	10,359			
市受託収益	(00)			
その他受託収益	0			
受取寄附金	(100)			
受取森づくり基金寄付金	100			
雑収益	(61)			
受取利息	11			
雑収益	50			
経常収益計	276,903			
(2) 経常費用				
事業費	(269,325)			
報酬	26,889			
給料手当	73,848			
福利厚生費	26,510			
賃金	16,890			

諸謝金	8,141		
旅費交通費	9,919		
消耗品費	8,682		
燃料費	2,235		
会議費	264		
印刷製本費	2,448		
光熱水費	16,813		
修繕費	4,752		
消耗什器備品	210		
商品仕入	1,500		
通信運搬費	2,721		
広告料	1,290		
手数料	998		
保険料	1,697		
委託料	44,839		
使用料及び賃借料	7,807		
備品購入費	150		
負担・分担金及び補助金	3,895		
租税公課費	6,823		
減価償却費	4		
雑費	0		
管理費	(13,161)		
報酬	4,208		
給料手当	5,056		
福利厚生費	1,400		
諸謝金	120		
旅費交通費	534		
消耗品費	0		
会議費	24		
印刷製本費	0		
光熱水費	0		
通信運搬費	47		
広告料	100		
委託料	355		
使用料及び賃借料	400		
負担・分担金及び補助金	167		
租税公課費	550		
支払利息	50		
雑費	150		
経常費用計	282,486		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 5,583		
評価損益等計	0		
当期経常増減額	△ 5,583		
2. 経常外増減の部			

(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0		
当期経常外増減額	0		
他会計振替額	0		
税引前当期一般正味財産増減額	△ 5,583		
法人税、住民税及び事業税	0		
法人税等調整額	0		
当期一般正味財産増減額	△ 5,583		
一般正味財産期首残高	28,527		
一般正味財産期末残高	22,944		
II 指定正味財産増減の部	0		
当期指定正味財産増減額	0		
指定正味財産期首残高	0		
指定正味財産期末残高	0		
III 正味財産期末残高	22,944		

収支予算書内訳表(損益ベース)

会計区分 全体

科目	平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで					小計
	公益目的事業会計	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)		
	森林文化(地域づくり)の創造					
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	2,000	0	0	0	2,000	
基本財産受取利息	2,000	0	0	0	2,000	
特定資産運用益	10	0	0	0	10	
森づくり基金受取利息	10	0	0	0	10	
受取会費	180	0	0	0	180	
賛助会員受取会費	180	0	0	0	180	
事業収益	7,598	12,364	110	476	20,548	
指定事業収益	4,898	12,094	100	476	17,568	
参加者負担金収益	2,199	3,632	100	0	5,931	
施設使用料収益	2,699	8,462	0	476	11,637	
自主事業収益	2,700	270	10	0	2,980	
参加者負担金収益	2,700	230	10	0	2,940	
商品売上収益	0	40	0	0	40	
手数料収益	0	0	0	0	0	
受取補助金等	142,075	68,622	22,884	1,733	235,314	
受取県補助金等	6,150	1,054	350	400	7,954	
受取県補助金	5,650	360	350	400	6,760	
受取県負担・分担金	500	694	0	0	1,194	
受取市補助金等	4,973	60	250	470	5,753	
受取市負担・分担金	4,973	60	250	470	5,753	

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計				小計
	森林文化（地域づく り）の創進	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)	
受取その他補助金等	0	0	30	0	30
受取その他負担・分担金	0	0	30	0	30
県受託収益	130,952	67,508	22,254	863	221,577
指定管理料収益	123,190	64,911	22,254	863	211,218
その他受託収益	7,762	2,597	0	0	10,359
受取寄附金	100	0	0	0	100
受取森づくり基金寄付金	100	0	0	0	100
雑収益	21	40	0	0	61
受取利息	10	1	0	0	11
雑収益	11	39	0	0	50
経常収益計	151,984	81,026	22,994	2,209	258,213
(2)経常費用					
事業費	155,505	83,400	22,994	2,576	264,865
報酬	15,152	8,110	3,573	0	26,835
給料手当	59,141	6,139	8,071	0	73,351
福利厚生費	13,644	5,816	6,749	0	26,209
賃金	11,120	5,710	0	0	16,830
諸謝金	5,863	1,726	230	322	8,141
旅費交通費	7,336	1,720	584	236	9,876
消耗品費	5,286	2,217	81	140	7,724
燃料費	999	1,215	0	0	2,214
会議費	215	34	10	5	264
印刷製本費	777	718	90	863	2,448
光熱水費	5,902	10,783	0	0	16,685
修繕費	299	4,432	0	0	4,731
消耗什器備品	60	150	0	0	210

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計					小計
	森林文化（地域づく り）の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)		
商品仕入	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	1,636	949	56	54	2,695	
広告料	800	170	5	0	975	
手数料	616	247	75	0	938	
保険料	923	768	0	0	1,691	
委託料	17,857	26,004	0	948	44,809	
使用料及び賃借料	4,172	2,955	670	8	7,805	
備品購入費	0	150	0	0	150	
負担・分担金及び補助金	695	0	2,800	0	3,495	
租税公課費	3,398	3,387	0	0	6,785	
減価償却費	4	0	0	0	4	
商品減耗損費	0	0	0	0	0	
支払利息	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	0	
管理費	0	0	0	0	0	
報酬	0	0	0	0	0	
給料手当	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計				小計
	森林文化（地域づく り）の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	（公益共通）	
諸謝金	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0
広告料	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0
負担・分担金	0	0	0	0	0
租税公課費	0	0	0	0	0
自動車重量税	0	0	0	0	0
消費税	0	0	0	0	0
印紙税	0	0	0	0	0
所得税・法人税等	0	0	0	0	0
自動車税・軽自動車税	0	0	0	0	0
自動車取得税	0	0	0	0	0
住民税	0	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0
商品減耗損費	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
経常費用計	155,895	83,400	22,994	2,576	264,865
評価損益等調整前当期経常増減額	△3,911	△2,374	0	△367	△6,652
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△3,911	△2,374	0	△367	△6,652

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

平成24年04月01日 から 平成25年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計					小計
	森林文化（地域づくり）の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	(公益共通)		
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計						
(2) 経常外費用						
経常外費用計						
当期経常外増減額						
他会計振替額				443	443	443
税引前当期一般正味財産増減額	△3,911	△2,374	0	76	△6,209	△6,209
法人税、住民税及び事業税					0	0
法人税等調整額					0	0
当期一般正味財産増減額	△3,911	△2,374	0	76	△6,209	△6,209
一般正味財産期首残高				28,527	28,527	28,527
一般正味財産期末残高	△3,911	△2,374	0	28,603	22,318	22,318
II 指定正味財産増減の部					0	0
III 正味財産期末残高	△3,911	△2,374	0	28,603	22,318	22,318

収支予算書内訳

会計区分 全体

科 目	平成24年04月01日 から				法人会計		合計
	収益事業等会計	その他事業	小計	協会維持運営費	小計	内部取引消去	
	収益事業					内部取引	
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
基本財産運用益	0	0	0	0	0	0	2,000
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	2,000
特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	10
森づくり基金受取利息	0	0	0	0	0	0	10
受取会費	0	0	0	0	0	0	180
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	180
事業収益	4,112	0	4,112	0	0	0	24,660
指定事業収益	652	0	652	0	0	0	18,220
参加者負担金収益	0	0	0	0	0	0	5,931
施設使用料収益	652	0	652	0	0	0	12,289
自主事業収益	3,460	0	3,460	0	0	0	6,440
参加者負担金収益	0	0	0	0	0	0	2,940
商品売上収益	2,700	0	2,700	0	0	0	2,740
手数料収益	760	0	760	0	0	0	760
受取補助金等	700	717	1,417	13,161	13,161	0	249,892
受取県補助金等	0	450	450	0	0	0	8,404
受取県補助金	0	450	450	0	0	0	7,210
受取県負担・分担金	0	0	0	0	0	0	1,194
受取市補助金等	0	0	0	13,047	13,047	0	18,800
受取市負担・分担金	0	0	0	13,047	13,047	0	18,800

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

平成24年04月01日 から

科 目	収益事業等会計		法人会計		内部取引消去	合計
	収益事業	小計	協会維持運営費	小計		
受取その他補助金等	0	0	0	0	0	30
受取その他負担・分担金	0	0	0	0	0	30
県受託収益	700	967	114	114	0	222,658
指定管理料収益	700	967	114	114	0	212,299
その他受託収益	0	0	0	0	0	10,359
受取寄附金	0	0	0	0	0	100
受取森づくり基金寄付金	0	0	0	0	0	100
雑収益	0	0	0	0	0	61
受取利息	0	0	0	0	0	11
雑収益	0	0	0	0	0	50
経常収益計	4,812	5,529	13,161	13,161	0	276,903
(2) 経常費用						
事業費	3,743	717	0	0	0	269,325
報酬	0	54	0	0	0	26,889
給料手当	398	99	497	0	0	73,848
福利厚生費	203	98	301	0	0	26,510
賃金	60	0	60	0	0	16,890
諸謝金	0	0	0	0	0	8,141
旅費交通費	30	13	43	0	0	9,919
消耗品費	926	32	958	0	0	8,682
燃料費	21	0	21	0	0	2,235
会議費	0	0	0	0	0	264
印刷製本費	0	0	0	0	0	2,448
光熱水費	128	0	128	0	0	16,813
修繕費	21	0	21	0	0	4,752
消耗什器備品	0	0	0	0	0	210

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

科 目	平成24年04月01日 から		収益事業等会計		法人会計		内部取引消去		合計
	収益事業		小計		協会維持運営費		内部取引		
	収益事業	小計	その他事業	小計	協会維持運営費	小計	内部取引		
商品仕入	1,500	1,500	0	1,500	0	0	0	0	1,500
通信運搬費	20	26	6	26	0	0	0	0	2,721
広告料	315	315	0	315	0	0	0	0	1,290
手数料	60	60	0	60	0	0	0	0	998
保険料	6	6	0	6	0	0	0	0	1,697
委託料	30	30	0	30	0	0	0	0	44,839
使用料及び賃借料	0	2	2	2	0	0	0	0	7,807
備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	0	150
負担・分担金及び補助金	0	400	400	400	0	0	0	0	3,895
租税公課費	25	38	13	38	0	0	0	0	6,823
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	4
商品減耗損費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管理費	0	0	0	0	13,161	13,161	0	0	13,161
報酬	0	0	0	0	4,208	4,208	0	0	4,208
給料手当	0	0	0	0	5,056	5,056	0	0	5,056
福利厚生費	0	0	0	0	1,400	1,400	0	0	1,400

平成24年04月01日 から

科 目	収益事業等会計		法人会計		内部取引消去		合計
	収益事業	小計	その他事業	小計	内部取引消去		
					協会維持運営費	内部取引	
諸謝金	0	0	0	120	0	0	120
旅費交通費	0	0	0	534	0	0	534
会議費	0	0	0	24	0	0	24
通信運搬費	0	0	0	47	0	0	47
広告料	0	0	0	100	0	0	100
委託料	0	0	0	355	0	0	355
使用料及び賃借料	0	0	0	400	0	0	400
負担・分担金及び補助金	0	0	0	167	0	0	167
負担・分担金	0	0	0	167	0	0	167
租税公課費	0	0	0	550	0	0	550
自動車重量税	0	0	0	0	0	0	0
消費税	0	0	0	550	0	0	550
印紙税	0	0	0	0	0	0	0
所得税・法人税等	0	0	0	0	0	0	0
自動車税・軽自動車税	0	0	0	0	0	0	0
自動車取得税	0	0	0	0	0	0	0
住民税	0	0	0	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0
商品減耗損費	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	50	0	0	50
雑費	0	0	0	150	0	0	150
経常費用計	3,743	4,460	717	13,161	0	0	282,486
評価損益等調整前当期経常増減額	1,069	1,069	0	0	0	0	△5,583
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,069	1,069	0	0	0	0	△5,583

公益財団法人 兵庫丹波の森協会

科 目	収益事業等会計		法人会計		内部取引消去		合計
	収益事業	小計	協会維持運営費	小計	内部取引消去	内部取引	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計							
(2) 経常外費用							
経常外費用計							
当期経常外増減額							
他会計振替額	△443	△443					0
税引前当期一般正味財産増減額	626	626	0	0	0	0	△5,583
法人税、住民税及び事業税				0			0
法人税等調整額				0			0
当期一般正味財産増減額	626	626	0	0	0	0	△5,583
一般正味財産期首残高				0			28,527
一般正味財産期末残高	626	626	0	0	0	0	22,944
II 指定正味財産増減の部							0
III 正味財産期末残高	626	626	0	0	0	0	22,944

平成24年04月01日 から